

# 議会だより

2016年 5月 北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会運営委員会編集



## 当初予算

### 66億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月4日から開催され、平成28年度当初予算をはじめ、条例の制定及び平成27年度補正予算など、町長から提案された23議案をいずれも原案どおり可決し、10日に一般質問などを行って閉会しました。

平成28年度一般会計予算は48億1千313万円で、対前年度比8.5パーセントの増、特別会計を合わせた7会計総額では、66億3千64万円で、対前年度比6.7パーセントの増となっています。

歳入では、普通交付税が前年対比約2千533万円の増の21億1千502万円、臨時財政対策債は前年同額の1億2千万円を見込んでいます。また、財源不足に充てるため、財政調整基金から1億5千万円を繰り入れています。

歳出では、大津地域光ケーブル線路設置等に6千48万円、葬斎場建設事業に1億6千333万円、道営負担事業（畑地帯総合整備事業）に8千564万円、畜産担い手育成総合整備事業に2千88万円、漁業経営近代化促進事業補助に960万円、道路関連として社会資本整備総合交付金事業に4億3千460万円、町営住宅建設等に1億7千631万円、豊頃消防署・指揮広報車購入に752

万円、教育支援用タブレット整備に314万円、次世代育成支援金支給事業に1千710万円が計上されています。審議内容については次ページに掲載しています。

また、平成27年度一般会計ほか6特別会計は次ページの表のとおり補正されました。主な補正の内容としては、基金積立に1億1千325万円、道営負担事業（繰越明許費）に2千230万円、地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業（繰越明許費）に2億7千443万円を、それぞれ追加したものです。

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用できる経費をいふ。

平成28年度各会計の当初予算の比較

(単位：万円)

会計名	28年度	27年度	比較	伸び率	
一般会計	48億1,313	44億3,606	3億7,707	8.5%	
特別会計	国民健康保険特別会計	6億7,891	6億8,187	▲296	▲0.4%
	介護保険特別会計	3億9,736	4億0,558	▲822	▲2.0%
	後期高齢者医療特別会計	5,618	5,700	▲82	▲1.4%
	医療施設特別会計	1億4,970	1億3,504	1,466	10.9%
	簡易水道特別会計	1億8,373	2億9,721	▲11,348	▲38.2%
	公共下水道特別会計	3億5,163	2億0,377	14,786	72.6%
	小計	18億1,751	17億8,047	3,704	2.1%
合計	66億3,064	62億1,653	4億1,411	6.7%	



## 平成27年度各会計補正予算の状況

会計名	補正額	総額
一般会計(補正6号)専決処分	1,000万円	46億3,762万円
一般会計(補正7号)	▲1億1,578万円	45億2,184万円
国民健康保険特別会計	▲1,772万円	6億6,815万円
介護保険特別会計	▲1,936万円	3億7,942万円
後期高齢者医療特別会計	▲102万円	5,675万円
医療施設特別会計	▲2,300万円	1億2,022万円
簡易水道特別会計	▲1,605万円	3億2,028万円
公共下水道特別会計	▲925万円	2億67万円

※専決処分とは、議会を開くいとまが無いときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること。

### 【一 条例改正等】

▼豊頃町行政不服審査会設置条例の制定

行政不服審査法の規定に基づき、町長の附属機関として設置する審査会に関する条例を制定。

▼行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定  
行政不服審査法の施行に伴い、

「豊頃町情報公開条例」、「豊頃町個人情報保護条例」、「豊頃町固定資産評価審査委員会条例」、「豊頃町税条例」の各条文中、審査請求に関する手続等を改正。

▼豊頃町外通勤者助成金交付条例の一部改正

本条例の対象年齢を「18歳以上30歳以下」から「18歳以上40歳未満」に、勤務実績を月「10日以上」

から「15日以上」に、助成金を「月額5千円」から「月額7千円」に改め、期限を5年間延長し、平成33年3月31日までとする改正。

▼豊頃町職員の分限についての手続及び効果に関する条例の一部改正

平成28年度からの人事評価導入に伴う改正。

▼豊頃町職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正に伴う改正。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告に基づき、職員及び再任用職員の給与表を改正。

▼豊頃町過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正

本条例の期限を「平成28年3月31日」から「平成33年3月31日」に改正。

▼豊頃町福祉活動拠点施設条例の制定

福祉活動拠点施設の完成に伴い目的、名称及び位置、開館時間、休館日、使用の制限等を定める条例を制定。

例を制定。

▼豊頃町在宅福祉サービス事業条例の一部改正

平成28年度から生きがいデイサービス事業が、介護予防事業として実施されることに伴う事項の改正。

▼豊頃町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
地域密着型通所介護及び指定療養通所介護の基本方針についての条項を追加する改正。

▼豊頃町過疎地域自立促進市町村計画の策定

新たに平成28年度から平成32年度までの豊頃町過疎地域自立促進市町村計画を策定。

▼定住自立圏形成協定の変更

帯広市との間で締結した定住自立圏形成協定を変更。

▼東十勝障害支援区分認定審査会共同設置規約の変更

東十勝介護認定審査会共同設置規約の変更

所在地を「幕別町保健福祉センター」から「幕別町役場」に変更。



### 【教育委員会委員の選任】

前教育委員会委員高木みどり氏の辞任に伴い、荒川めぐみ氏（中央新町）を選任したいとの提案があり、これに同意しました。

なお、任期は平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間で。

**※ 会議の詳細は会議録で**  
 定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。  
 ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。  
 また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222  
 FAX 015-574-3955  
 （議会事務局直通）

※ ※

### 主な審議内容

#### 平成27年度補正予算

**Q** 地方公共団体情報セキユリティ強化対策事業で指名する業者の数及び機器の保証期間は？

**A** ネットワーク機器等設定業務は既に庁内ネットワークの構築業務を行っている業者と随意契約を、端末機の購入は3社

以上による指名競争入札を実施する予定。なお、端末機の保証期間は5年間である。

**Q** 当初、マイナンバー導入の際にセキユリティ的に問題無いとのことであったが、今回の強化対策はマイナンバーのセキユリティを上げるものか、庁舎全体のセキユリティを上げるものかどちらか？

**A** 昨年11月の整備は、マイナンバーを扱う業務用システムと一般事務用とを区分けたもので、町はこれで十分であると判断をしていたが、国からサイバー攻撃が複雑、巧妙化しているため、更なるセキユリティ対策を行うよう通知があったことから、業務用パソコンを完全に切り離す対応や使用者の指紋認証などの対策を行うものである。

**Q** 観光施設管理費の減額理由は？

**A** 長節湖キャンプ場草刈業務委託料の執行残。

**Q** 長節湖キャンプ場トイレ周辺を含め管理の徹底が必要で、予算を増やしてもやるべきと思うか？

**A** 年3回草刈を実施しているが、不十分なところについては、直営その他補正で予算をお願いし、管理の徹底を図りたい。

**Q** 長節湖キャンプ場のみならず観光資源の管理徹底を？  
**A** 今後、現地を確認し、きれいな管理に努めたい。

**Q** 診療報酬の減額理由は？  
**A** 前院長が昨年3月で退かれ、4月は代替診療、5月から現院長による診療となり、5月は前年比約半分の患者数、6月から11月までは患者数で前年比約90パーセント、診療報酬で約70パーセントの状況である。

**Q** 患者への新たなサービス、町立医院2階の利用により患者数、診療報酬も増えるのでは？  
**A** 休診、代替診療期間に約1割の患者が近隣医療機関を受診するなどの影響から、患者数の回復のため、予防接種をいつでも受けられる体制などの対応を行っていききたい。医院2階の活用も含め、現院長と十分協議し、進めてまいりたい。

**Q** 簡易水道整備費の減額理由

由は？  
**A** 当初1億1千737万円の予算で実施した3事業の設計及び工事請負残。

条例の制定及び改正  
**Q** 行政不服審査会は事件ごとに設けるのか？  
**A** 事件ごとの審査会設置であり、事件が解決するまで開催する。

この審査会の設置に向けて勉強会・研修会の開催は？  
**Q** 事件の内容によっては高度な法律的な知識が必要なケースもあり、弁護士などを委嘱し解決を図り対応する内容を含む条例である。

#### 平成28年度当初予算

**Q** 財政調整基金から1億5千万円の繰入金とあるが今後の財政の見通しは？  
**A** 約45億円の基金を保有しているが、社会情勢により厳しい財政運営も予想される。今後とも将来に備え健全運営が必要と思う。

**Q** 農地中間管理機構集積協力金交付事業の前年度からの減額理由は？



**Q** 交付基準が1ヘクタール2万円から1万円に減額及び集積面積が減る見込みであるため。

**Q** 産業振興基金繰入金の前年度からの増額理由は？

**A** 前年度までは立木売却収入を充てていたが、新年度から全額基金からの繰り入れとしたため。

**Q** 町税4税の増収方策は？

**A** たばこ税は、健康嗜好に伴い減額傾向にある。軽自動車税の増収PR及び購入補助は考えていない。

**Q** 民生手数料において、生きがいデイサービス利用者負担を新年度予算に計上していない理由は？

**A** 新年度以降、生きがいデイサービス事業が介護予防事業に位置付けられ、参加者負担金をいただかないため。

**Q** 民生費国庫補助金の低所得の高齢者向けの給付金給付事業費は、どのようなものか？

**A** 国では、平成28年前半の個人消費の下支えのため、低所得者への定額給付金を支給。本年3月15日から6月15日までの3カ月間の申請受付を行い、本町の支給予定者は460人を見込んでいます。

**Q** 低所得者介護保険料軽減負担金とあるが、個人的に負担が発生するのか？

**A** 個人が負担する性格のものではなく、町が負担軽減した分に応じて、国が補填するもの。

**Q** 一時借入金の限度額、5億円は妥当と思うが、過去に実行された経緯があるか、参考までにお聞かせいただきたい。

**A** 最近、一時借入を行ったことは少ない。

**Q** 茂岩山自然公園内遊歩道の間伐等整備の考え方は？

**A** 遊歩道の整備地区は保安林に指定しているため抜本的な間伐は難しいが、利用に支障とならないよう現地を確認しながら、部分伐採等整備していく。

**Q** 町内青年女性交流推進事業補助金の内容は？

**A** 町内で実施する交流会等に対する助成。農協・漁協・商工会各青年部、職域、飲食店等

にPRし、男女の交流の場を作っていく。

**Q** 定住促進の各事業を町外へ情報発信する方法は？

**A** インターネットを使っての情報発信のほか、子育て支援施設、住宅施策等の冊子を作成し、移住イベント等で配布している。今後は、関係団体の協力を得ながら進めていく。

移住・定住案内冊子

**Q** (仮称)とよころファンクラブの概要は？

**A** 東京豊頃会、札幌豊頃会に参加していない豊頃町出身の若者世代を対象とし、豊頃町の情報提供して本町のPRを依頼するとともに、Uターンなどの移住促進につなげる。

**Q** 町外通勤者助成金の利用実績と今後の見込みは？

**A** 平成23年度から実施しており、平成23年度27人、平成24年度21人、平成25年度25人、平成

26年度22人、平成27年度上半期で23人が利用。新年度は助成範囲を10歳拡大し、55人の利用を見込む。

**Q** ふれ愛タウン推進会議、行政改革推進委員会、まち・ひと・しごと創生会議の各会議に委員が重複していると思うが、機動力ある委員会とするための方策は？

**A** それぞれ法律に基づいて組織する委員会のため、重複する委員が生じている。今後は可能な範囲で様々な方を委員に推薦していきたい。

**Q** 移住定住の推進に担当部署に限らず役場職員OBを活用しては？

**A** 町外在住で本町にゆかりのある方にまちおこしへの協力を得ながら推進していきたい。

**Q** 福祉灯油の支給状況は？

**A** 生活保護基準の1.3倍以下の収入の世帯及びひとり親世帯、準要保護世帯などを支給対象としている。平成27年度は、福祉灯油86世帯、薪支給4世帯の合計90世帯に支給。

**Q** 葬斎場の建設位置の考え方は？

**A** 葬斎場の建設位置の考え方は？

**A** 道路、地形等を現地調査し、使用者の利便性、建設費等を考慮して判断した。



現在の葬斎場

**Q** 葬斎場の火葬炉を1基とした理由は？

**A** 火葬炉性能、将来の人口動態推計を考慮して1基とした。

**Q** 葬斎場の建設工事及び火葬炉整備の入札時期は？

**A** 4月中に入札を執行し、5月中に本契約の議会提案をしたい。

**Q** 農業農村サポート研修施設管理費の減額理由は？

**A** 平成27年度執行見込額を基に計上した。

**Q** 新規魚種開発事業補助金を新年度予算に計上していない理由は？

**A** 十分な成果が得られず事業が中止となったが、今後は、大津漁協及び大津漁協青年部と協議のうえ対策を検討していきたい。

**Q** 中小企業融資制度の概要は？

**A** 町が帯広信用金庫豊頃支店に8千万円を預託し、それを原資にその3倍を融資枠として中小企業者に融資する制度。その他、融資の際の利子及び信用保証料の補助を行う。

**Q** とよころ産業まつり補助金の減額理由は？

**A** 平成27年度は、町制施行50周年として例年から上乘せしたため。

**Q** こっふく観光プロジェクト実施工業補助金の減額理由は？

**A** 国の補助事業による基盤整備が終了したため。今後は、その基盤を使って事業展開していく。

**Q** 設備が不十分な古い公営住宅があるが、対応策は？

**A** 今後改修に向けて検討していく。

**Q** 公営住宅の今後の整備計画は？

**A** パートナータウンは平成28年度整備完了。高齢者住宅は平成29年度までに4棟13戸を整備、大津寿町町営住宅は平成29年度までに2棟4戸、豊頃南町団地は平成30年度からの建替を計画。

**Q** 高齢者住宅への移転費用対策、家賃は？

**A** 移転費用を補助。家賃は月額1万2千円。



茂岩栄町に建設された高齢者住宅

**Q** サマーランド中学生派遣事業に対する低所得世帯への支援は？

**A** 参加者負担への支援は行っていない。今後支援の必要な参加希望者がいれば検討したい。

**Q** える夢館の維持管理体制は？

**A** 不測の事態にも対応可能な施設となるよう維持、整備していく。

**Q** 十勝川河畔林等伐採物処理事業の予算計上がない理由は？

**A** 事業完了したため。今後、必要に応じて予算計上していく。

**Q** 下水道施設改築更新工事による効果は？

**A** 耐用年数の過ぎた機械設備等を更新する。

**Q** 下水処理場維持管理業務を地元業者が請け負うことは可能か？

**A** 業務の性質上、専門資格・同種の業務経験のある業者に委託しているため、地元業者では難しいと考えている。



茂岩下水浄化センター



# 委員会レポート

総務文教常任委員会で2月8日に、「学校給食センターの運営管理及び学校給食の現状について」所管事務調査を行いました。

## 1 調査の経過と結果

### (1) 学校給食センターの運営管理

本施設は平成10年4月に竣工し、本年3月末で18年が経過する。管理運営の体制は、所長、栄養教諭、配送・施設管理職員、事務員各1名、調理員6名の計10名である。平成24年度から平成27年度までの施設等の整備総額は、2千475万円で、毎年約600万円以上の費用を要し、施設内の機械設備・備品類の修繕及び更新が行われている。

一日の平均食数は、小中学校及び保育所の児童・生徒・教職員分を含め、本年度335食で、児童・生徒の減少により5年前より約40食減少している。給食日数は年間約200日、その内訳は、米飯が全体の5分の3を占め、パン及び麺類が同食数となっている。年間の給食費は、一人当たり小学校で約4万5千円、中学校で約5万3千円であり、平成26年度の給食費の収入総額は、1千328万円、支出総額は1千444万円で、差額は町費で賄われている。

本町の学校給食費は、平成21

### (2) 学校給食の現状

学校給食の献立は、文部科学省が定める児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準により地場産物の活用をはじめ、本町の特色ある献立を工夫するよう進められている。食に関する指導では、各小学校で学年4回、中学校3学年で22回実施されている。また、ふるさと給食では、本町の特産品である農産物・海産物をメインにした四季を感じる給食を年4回実施している。



学校給食センターの概要説明を受ける。

平成26年度における食材全体に占める豊頃産の割合は15パーセント、道内産71パーセント、道外産14パーセントとなっている。

## 2 まとめ

18年が経過する本町学校給食センターの管理運営は、施設内機器の修繕、更新が適宜行われ、衛生面を第一に安全でおいしい給食が提供されており、適正に管理運営されている。

学校給食の現状では、学級ごとに食べ残しの数量を記録し、献立づくりに活かしているとのことであり、今後は児童・生徒への給食指導、教職員との連携を密にし、食べ残しを減らす取り組みにも期待したい。また本町農産物・海産物の更なる利用を図るための下処理方法やその体制づくりなどの課題を整理し、地域食材を利用したおいしい給食の提供を一層進められたい。

今後においては食器洗浄機の更新など多額の費用を要するものもあり、施設本体や外構を含めた施設全体の年次整備計画が必要ではないかとの意見が出された。

## 道外視察研修

4月11日から14日にかけて、道外視察研修として姉妹都市である富山県滑川市及び本町進出企業であるアイシン精機株式会社本社を訪問しました。

11日、滑川市役所を表敬訪問し、上田昌孝市長、中島勲議長をはじめ、関係者と懇談しました。その後の交流会では、滑川市全議員が出席され、交流を深めました。翌日には、市の主な施設の視察や、総合戦略の説明をいただきました。



滑川市にて

また13日には、愛知県刈谷市にあるアイシン精機株式会社本社を訪問し、会社の歴史や製造品の数々を視察した後、前沼聡常務役員などと懇談しました。



# 一般質問



坂口 尚示 議員

## 豊頃町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q 新たな産業や雇用の創出に対する具体的取組は？

A 宮口町長  
観光振興、産業振興、6次産業化、雇用情報の提供等を推進する。

Q 物産販路拡大推進事業の具体的取組は？

A 宮口町長  
豊頃町物産販路拡大協議会が中心となり、物産イベントでの販売、商品開発、PR活動を行っている。

## ふるさと納税について

Q 東京豊頃会、札幌豊頃会会員へのニーズ調査の結果は？

A 宮口町長  
返礼品の中で、海産物、鹿肉加工品への関心が高いとの結果を得た。



ニーズ調査時の寄付者への返礼品

Q 特産品贈呈の具体的内容は？

A 宮口町長  
寄付金の申込みにインターネットを活用し、特産品販売業者から直接寄付者へ返礼品を送付する方法で検討している。

Q 特産品開発と合わせて6次産業化推進の具体的内容は？

A 宮口町長  
産官共同での協議会を創設し進

めていく。



岩井 明 議員

## 介護職員の処遇改善について

Q 介護職員の処遇への考え方は？

A 宮口町長  
介護事業所への財政支援による処遇改善はもとより、本町における住宅環境、子育て環境の整備に努めていく。

## 子どもの貧困対策について

Q 町内の貧困状況の把握は？

A 宮口町長  
要保護・準要保護児童生徒就学援助制度の適用率は6・8パーセントである。ただし、これは小中学生のみの数値で全体ではさらに高くなると考えている。

Q 本町の取組は？

A 宮口町長  
要保護・準要保護児童生徒就学援助制度などによる経済的支援を行っている。今後も必要な支援を

行っていきたい。

## 鳥獣等、天然記念物の保護について

Q 民有地、民有林の所有者への自然保護の意識付けの方法は？

A 宮口町長  
森林組合、自然保護団体等関係機関と連携して所有者への意識付けを図っている。

Q 町民への自然保護に関する情報の提供方法は？

A 宮口町長  
関連図書を発刊し、自然保護への普及啓発を図っている。



豊頃町が発刊した自然保護関連の図書

## 商工業の振興対策と進捗状況について



小笠原茂人 議員

Q 豊頃市街における買い物弱者



への支援策は？

A 宮口町長

コミュニティバス、患者輸送車、福祉タクシー券の活用とともに、地域の要望をいただき対策を検討する。

Q 商店経営者の高齢化、後継者問題への支援策は？

A 宮口町長

商工団体と協議しながら商業振興策の実施により支援していく。

Q プレミアム付特別商品券発行事業の事業効果は？

A 宮口町長

事業効果の判断は難しいが、一定の効果をもたらしていると認識している。



プレミアム付特別商品券

Q 茂岩市街の商店に対して持続的な経営を求めているかどうか？

A 宮口町長

経営者、出資団体との情報共有に努めながら、町として可能な対策を検討していきたい。

Q 商業振興への考え方は？

A 宮口町長

商工団体と協議しながら町として可能な支援を行っていきたい。

### 営農用水の確保について

Q 営農用水の実態把握と今後の対策は？

A 宮口町長

井戸水、湧水の湧水時には簡易水道の利用を確保しており、実態調査を行う考えはない。

Q 簡易水道利用時の水道料の負担軽減を行う考えは？

A 宮口町長

水道料金に営農用区分の料金設定について関係課と検討する。

Q 農業用水と緊急用防火用水との共用はできないか？

A 宮口町長

営農用水貯水槽を共用施設とすることはできない。

## 議会日誌

### 〔2月〕

8日 総務文教常任委員会所管事務調査

19日 議員全員協議会

十勝町村議会議長会定例会

～帯広市

25日 元議会議員会研修会

26日 十勝圏複合事務組合等議会議定例会

～帯広市

### 〔3月〕

1日 議会運営委員会

4日 第1回定例会（1日目）

（条例改正等、補正予算、その他）

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

8日 第1回定例会（2日目）

（新年度予算）

10日 第1回定例会（3日目）

（一般質問、その他）

17日 議員全員協議会

17日 議員全員協議会

24日 東十勝消防事務組合議会議定例会及び解散式～幕別町

### 〔4月〕

11日～14日 道外視察研修

～富山県滑川市、愛知県刈谷市

19日 十勝町村議会議長会定例会

～帯広市

### ◎今後の予定

### 〔5月〕

9日 議員全員協議会

第2回臨時会

19日 元議会議員会総会

### 〔6月〕

9日 北海道町村議会議長会定期

総会

13日 議会運営委員会

15日 第2回定例会（1日目）

21日 第2回定例会（2日目）

22日 第2回定例会（予備目）

※日程は変更になる場合があります。